

サッカースタジアムにREVO<レボ>

エコパスタジアム

09年8月発行



8000㎡にケンタッキーブルーグラスとペレニアルライグラスを播種して芝生を作っていく。主にケンタッキーブルーグラスを、春は4月に秋は10月中旬に播種をする。この播種後の水管理や夏場の高温対策が重要である。芝刈りは1日おきに実施しているが、刈り込み高さも時期時期で調節して管理している。サッカー等のスポーツや芸能文化まで、多彩なイベントの舞台となるスタジアムである。

グラウンドキーパーのコメント

レボをエコパに使用して4年目である。レボを使用すると水分の透水性が良くなるので、根の伸びが良くなる。以前は夏場に根が腐敗して悪臭を放つことがあったが、レボを使用するようになって土壤の環境が良くなり臭いもしなくなった。競技場の夏場の高温対策にはレボは外せないと思っている。レボは2ml/㎡を6月頭から7, 8, 9月に月に1回散布している。この結果として芝生への水分コントロールが上手くいき、病気の発生が少なくなったと感じている。

日照不足とサマーディクライン対策にグリーンメカ

エコパは観客席や屋根の日照不足と、風通しが悪いため的高温が悩みである。特に日照不足になる場所は決まっているので対策が必要となる。9月になると気温が上がったり下がったりするので衰弱した根に追い討ちをかけ衰退させる。このサマーディクライン対策として夏はグリーンメカ2.5ml/㎡と液肥を混用散布する。そして9月にはサマーディクライン対策に4ml/㎡のグリーンメカを毎週散布する。このグリーンメカの栄養分補給で何とか芝生の生育を維持できているので助かる。

代理店

製造元



芝生・農芸薬剤の開発・輸出入

株式会社 トモグリーンケミカル

〒420-0816 静岡市葵区沓谷五丁目9番地の12

TEL <054>264-2151 FAX 264-2153

ホームページ <http://www.tomo-green.com>